

志和町の地域おこし協力隊員 伊藤かおり からの報告

厳しい寒さもようやく終わりを告げ、日一日と暖かくなってきました。昨年度飼育していた日本ミツバチの4群はアカリンダニの発生により冬場に全滅してしまいましたが、昨年の春先から初夏にかけて新たに飼育を始めた6群のうち、4群が無事に春を迎えることができました。今、胸をほっと撫で下ろしています。今年も残念ながら冬を越せなかった2群についてはアカリンダニから守ることができませんでしたが、二年間の経験から、ミツバチがより元気で免疫力の高い状態で過ごせることが何よりも大切であると感じています。暖かな春を迎え、少しでも多くのミツバチが町内で元気に過ごせるよう手助けする活動の継続に、日々想いを新たにしています。



2月23日(水)



西志和自治協の方々と「歴史の散歩道」のイベントに向けた準備のため、金剛岩付近の散歩道の整備作業に参加しました。森に入り、樹木の名前を色々と教えていただきました。また、蜜源となる樹木が増えて森が健やかになっていくには、間伐が大切であることを改めて学びました。

2月24日(木)



東志和小学校で2月24日、子供達による感謝の会が開催され、招待されました。昨年9月に「日本ミツバチの養蜂と環境保全」についての授業をさせていただく機会に恵まれたことに私も感謝しております。保護者の方々から、お子様がミツバチにとっても興味を持たれたとのお話を聞く機会があり、今後の活動の大きな励みになりました。

2月28日(月)



西志和小学校でも2月28日に「日本ミツバチの養蜂と環境保全」をテーマとした授業を担当させていただきました。元協力隊の森口美優さんにサポートをしていただきました。今後も、この春に開講する志和小学校の4年生の総合学習授業に携わらせていただく予定です。